

会 議 録

会議の名称	平成28年度 第5回 栃木東部地域会議
開催日時	平成28年9月28日 開会19時00分 閉会20時05分
開催場所	栃木市国府公民館 小会議室
出席委員氏名	五十嵐 記代子、大橋 哲夫、大山 恵久、荻島 哲、柏崎 桂二、 柏崎 章吉、神田 誠司、神戸 透、倉持 好則、島田 秀夫、 竹澤 克元、内藤 實、藤本 紀子
欠席委員氏名	武政 晃、埴生 才喜、谷中 俊太郎
事務局職員職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 出井 正一、 大宮公民館長 伏木 広安、国府公民館主査 毛塚 隆
その他出席者等	文化課課長補佐兼文化振興係長 中野内 重雄
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「後世に残したい栃木市の文化資源48選」に掲載する地域の文化資源の選定について（意見聴取） ・平成28年度地域予算事業計画書（案）について ・栃木東部地域会議だより第3号（案）について
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者・議題・発言内容・決定事項	
1 開会	司会：出井 所長
2 あいさつ	柏崎 会長
3 議事	
議 長	・本日の出席委員数について、事務局から報告願う。
事務局	・栃木東部地域会議の委員総数は16名のところ、本日の出席委員は12名である。 なお、武政委員からは所用のため欠席との連絡をいただいている。 (その後、委員1名が遅刻して出席したため、出席委員は13名となった。)
議 長	・全委員の過半数の出席であるため、本日の会議は成立している。
	(1)「後世に残したい栃木市の文化資源48選」に掲載する地域の文化資源の選定について (意見聴取)
議 長	・事務局から説明願う。
事務局	・資料1ページのとおり教育長から地域会議の意見を伺いたいという依頼があり、本日出席の文化課の中野内課長補佐から説明いただきたい。
担当課	・(資料「『後世に残したい栃木市の文化資源48選』に掲載する地域の文化資源の選定について」に基づき説明) 東部地域会議からは荻島委員さん、大橋委員さんに調

査員としてご協力いただき、大宮24件、国府71件、東部地域の合計95件の文化資源を挙げていただいた。今回は個人の所有物は選定の対象外とした。文化資源の冊子を作って、回って見ていただくことを想定しているので、突然の訪問に困る個人は適さないと判断した。

- 議長 ・何かご意見・ご質問があればお願いしたい。
- 委員 ・⑥の選考理由が田村町の銀杏ではなく宮野辺神社の内容になっている。
- 委員 ・③は草を踏み分けて入る感じで、ほとんど分からない。入る道を整備しないと選定に載せられないと思う。
- 委員 ・行政もずいぶん放ったらかしにした感じがある。
- 委員 ・看板も3年前くらいから倒れたままだと聞いた。行ってみると分かるが、幽霊でも出て来そうだ。
- 委員 ・尼寺（下野市）の隣の古墳は文科省の管轄になったので、市がかえって手をつけられないほどしっかり管理されている。それと比べると、栃木市の方は寂しい。
- 委員 ・吾妻（古墳）は壬生ではないのか。
- 委員 ・飛び地で栃木市だ。
- 委員 ・前方後円墳で、前方部が栃木市、後円部が壬生町になっている。
- 委員 ・（吾妻）古墳の蓋の石が壬生の城址公園にあるから、古墳は壬生だと思っていた。
- 委員 ・先ほどの⑥の選考を、田村町の銀杏にするのか、宮野辺神社にするのか。
- 委員 ・大宮神社の獅子舞が5年前から途絶えている。小学生2人から4人ほどしかいない。小学生だけに決めている訳ではないが、中学生になると部活や塾があり参加が難しい。他の地域では獅子舞をどのように継承しているのか。5年前の大宮公民館まつりで獅子舞を披露したのが最後で、今は踊り子がいなくて練習もしていない。20年前に200万円近くかけて作った衣装がもったいない。衣装を作った呉服屋から、今衣装は使っているのか、と聞かれる始末だ。私も氏子でないので総代会に入る訳にもいかないし、範囲を広げて子どもを募集するべきなのか。皆さんから知恵をいただいて残していきたい。
- 委員 ・獅子舞をやっていた人たちは、今もいるのか。
- 委員 ・笛を吹いた大人たちが亡くなってしまった。誰が何をやったかは残っているが、やっていた人自体が亡くなっている。
- 委員 ・継承者を探すのに良いチャンスだと思う。
- 議長 ・この話は東部地区で検討していただきたい。東部地域としては、文化課が選んだこの6点でよいか。（一同了承）

（2）平成28年度地域予算事業計画書（案）について

- 議長 ・事務局から説明願う。
- 事務局 ・（資料2～6ページに基づいて説明）
- 議長 ・何かご意見・ご質問があればお願いしたい。
- 委員 ・入札になるのか。
- 事務局 ・そうなる。
- 委員 ・地区のイベントに協力してくれている地元の業者に依頼できないか。
- 委員 ・業者は、舞台の設置、簡易テント、テーブル、イスなど全てに対応できる場所で

ないと市としては難しいのではないかと。

事務局 ・ 工事は契約検査課で発注し、一般競争入札や指名競争入札で業者に競わせる。市内の業者を市外の業者より優先することはできるが、国府地区の業者を市内の他地区の業者より優先するのは難しい。なお、大宮運動広場の休憩所は（大宮地区の業者ではなく）片柳町の小林商店に決まった。

委員 ・ 今あるベンチは木製なので老朽化して腐ることもあったが、新設するものはペンキを塗らなくて済むのではないかと。あとでペンキ代が必要になると予算が足りなくなってしまう。

委員 ・ 木製ベンチを撤去し、数は減るが丈夫なベンチを設置する、という内容まで書けないか。設置台数を減らすのであればその理由を明記しておきたい。

事務局 ・ 「今後の取組み」はペンキ塗りではなく管理するという記述に修正したい。

委員 ・ 簡易テントなどは、どこに閉まっておくのか。

事務局 ・ 市で管理するが、保管場所は国府や大宮の公民館になるか国庁跡資料館になるか、まだ決まっていない。

委員 ・ 国庁まつりだけで使うものではないという理解でよろしいか。

事務局 ・ そのように考えている。

委員 ・ 国庁まつり以外でも使えるよう、地域会議の名前を入れたい。簡易テントに文字を入れる、と仕様書に入れて欲しい。後で文字を入れたいと言うと別料金がかかってしまうものだ。

委員 ・ 大宮でテントを新しくした時は、一文字900円くらいかかった。

議長 ・ 事務局で修正した事業計画書を、10月8日の交流会で市長に提出する。

（3）栃木東部地域会議だより第3号（案）について

議長 ・ 事務局から説明願う。

事務局 ・ （資料7、8ページに基づき説明）第6回の会議は火曜日なので、「全て水曜」の記載は削除したい。

議長 ・ 何かご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員 ・ 東部地域には小規模特認校が2校（大宮南小、国府南小）ある。学区外からも入学できるということを載せて欲しい。国府南小のオープンスクールには8家族が参加した。

委員 ・ 国府南小の児童は何名なのか。

委員 ・ 全校で38名だ。

委員 ・ 大宮南小は67名で、そのうち35%（23名前後）が学区外から通っている。

委員 ・ 年度途中で転入する児童もいる。

委員 ・ PRが足りないと思う。

委員 ・ 3、4回目になる今年の市の説明会は参加者が多かった。市民の関心が高くなってきていると思う。

委員 ・ 国府南小の北の特認校の看板の写真でも載せればよいのではないかと。

（4）その他

事務局 ・ 前回7月の地域会議で、まちづくり実働組織をどうするかについて、各地区のまち

づくり協議会の役員会で協議していただきたいとお願いしていたので、その経過を報告していただきたい。

議 長 ・国府地区のまちづくり協議会の役員会では、東部地域として実働組織を作るのは無理があるということになった。西部地域でも個々のまち協で実働組織を作って認定されている。大宮のまち協がまだ決まっていかなら、先に国府が組織してもよいのではないか、という意見も出た。

委 員 ・大宮地区の会議の経過報告をしていただきたい。

副会長 ・9月12日に別の会議があり、そこで話題にあげたところ、大宮の地域会議委員に一任された。すぐには結論が出ない状況である。

委 員 ・別の会議の際で、なおかつ理解できていない我々が説明したので伝わったかどうか分からないが、きちんと会議をもつまで時間をいただきたい。

議 長 ・国府のまち協では各種団体が4つの部会を組織し、それらが協議し合って実働組織としてやっていけると思う。国府地区では大神神社や下野国庁跡が実働組織の活動の中心になるかと思う。大宮と国府が一緒にできるのが理想だが、(まち協自体が)住民にまだ浸透していない。今年中には市に(国府地区としての実働組織の認定申込書を)提出したい。国府地区のものが出来上がったら東部地域として承認していただく必要があるので、その時はよろしくお願いしたい。

4 その他

事務局 ・次回会議は11月22日(火)午後7時から大宮公民館で開催する。 以 上